BMW GROUP
Corporate Communications

2021 年 3 月 10 日

# BMW グループ、プレミアム・メーカーとして初、統合グループ報告書を発行

## 2020 年度 BMW グループ年次報告書とサステイナブル・バリュー・レポートを統合
## ステークホルダーに対し、透明性が高く企業全体を網羅する報告書を提供
## Science Based Targets イニシアティブによる CO2 ターゲットの公式承認

ミュンヘン発：BMW グループは、同グループの 2020 年度年次報告書およびサステイナブル・バリュー・レポートをひとつの BMW グループ報告書に統合する。取締役会が 2020 年度のサステイナビリティ目標を再定義した後の導入となる。以降、BMW グループ年次総会に合わせて、当グループの業績と環境および社会への貢献を説明する統合報告書を発行する。

BMW AG 取締役会の財務担当ニコラス・ペーター博士は、次のように語っている。「2020 年度 BMW グループ報告書は、当グループのビジネス・モデルとサステイナビリティは切っても切れない関係にあることを示しています。私たちは BMW グループの財務および非財務の両パラメータに基づいて経営を行っており、毎年、それらについて透明性の高い方法で報告しています。プレミアム・メーカーとして業界に手本を示し、責任を引き受ける努力をしています。私たちは、主要な持続可能開発指標に対し、財務の数値と同じ重要性を持たせています」。

BMW グループは、すでにサステイナビリティ関連で掲げてきた目標のうち、いくつかの主要な分野で達成をしている。たとえば、1995 年から 2020 年までに欧州の新車フリートの CO2 排出量を 53%削減した。また、昨年からすべての BMW グループ工場において、使用する電気の 100%を再生可能な資源から得ている。さらに、2020 年度の多様性目標も達成している。BMW グループの管理職に占める女性の割合は 17.8%となっており、これは目標の 15-17%を上回っている。

2020 年 7 月、BMW グループは初めてライフサイクル全体、つまりサプライ・チェーンから使用終了段階までにおよぶ、2030 年までの野心的な CO2 削減目標を設定した。

- すべての製品ラインアップにて、車両 1 台あたりの CO2 排出量を大幅に（少なくとも 1/3）削減する。2019 年に BMW グループが生産した 250 万台の車両で換算すると、2030 年までに 4,000 万トンを超える CO2 削減することに相当する。

- 2006 年以降に生産された車両の CO2 排出量をすでに 78%を超えて削減しているため、現在 BMW グループは、2019 年のレベルから 2030 年までにさらに 80%削減することを目標にしている。

- 2019 年の車両の全使用期間を通した走行 1km あたりの CO2 エミッションを、2030 年には 40%を超えて削減することを目指す。これを達成するための主な方策は、e モビリティの体系的な拡大による将来にわたる製品戦略である。

- BMW グループは、サプライ・チェーンにおいて、「車両 1 台あたりの CO2 排出量を 2019 年のレベルから 20%以上削減する」という具体的な CO2 目標を定めた最初の自動車メーカーである。この目標を達成するために採用している手法のひとつとして、契約決定条件にカーボン・フットプリントを盛り込んでいる。

なお、BMW グループの CO2 ターゲットは Science Based Targets イニシアティブ（SBTi）の公式承認を受けている。これは、最新の科学的知見に基づいて BMW グループの持続可能性目標を確認するもので、パリ協定の目標達成に貢献するものである。BMW グループは、長期目標として 2050 年までにバリュー・チェーン全体でクライメイト・ニュートラルなビジネス・モデルを確立することを掲げている。

今後、国際統合報告評議会（IIRC）の規則に基づき、BMW グループ統合報告書を、目標達成までの進捗状況を透明な方法で文書化するために使用していく方針である。

2020 年度 BMW グループ報告書は、BMW AG および BMW グループの統合管理報告書と、非財務報告書について定めた独 CSR 指令施行法（CSR-RUG）の要件に準拠した非財務報告書で構成される。さらに、BMW グループの 2012 年から 2020 年までの持続可能性戦略の目標達成のための取り組みも文書化する。

BMW グループの統合報告書は、2001 年以来環境影響軽減の方策を報告してきた、という強固な基盤に立脚する。2005 年以降は、持続可能性に向けた進捗状況の報告に地球的規模報告イニシアチブ（GRI）の標準を適用し、2008 年からは最高の GRI オプション（「総合」）を選択している。また、2013 会計年度以降、サステイナブル・バリュー・レポートを外部監査機関に提出しており（「限定保証」）、さらに、2014 年度のサステイナブル・バリュー・レポート以来、持続可能性報告書および年次報告書を同時に発行してきた。

2020 年度 BMW グループ報告書は、オーディオ・ビジュアルのコンテンツおよびアニメーション・グラフィックを盛り込んだデジタル形式でも発行され、3 月 17 日から、以下のリンクから入手できる。
https://bericht.bmwgroup.com/.

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:
BMW カスタマー・インタラクション・センター
フリーダイヤル 0120-269-437
受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00
BMW ウェブサイト: http://www.bmw.co.jp